

来週の「売り物」記事はこれ



2011年12月16日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

DV企画「奪われた わたし」①～④止

くらしナビA面 20(火)～23日(金)

今年はDV(家庭内の暴力)防止法施行からちょうど10年となります。法施行でDVが社会的な問題として認識されたものの、この10年の間にDVは顕在化し、さまざまな課題も浮かび上がってきました。DVの被害者や加害者を実際に取材し、現状を探りました。



はかりを使わないケーキ作り

くらしナビB面 20日(火)



ケーキを作るには小麦粉や砂糖などを計量器で正確に計らなければならず、初心者にはハードルが高いです。そこで「はかりのいらぬお菓子作り」を提案している料理研究家の本谷恵津子さん=写真=に簡単なケーキ作りを教えてくださいました。クリスマスを前に必見です。

食品の放射性物質規制値とは？

くらしナビA面 19日(月)

食品に含まれる放射性物質について、厚生労働省は年内に新たな規制値を設ける方針です。現在の日本の暫定規制値は海外と比べてどう異なっているのか、そもそも規制値の意味とは何か。食品の放射能汚染への関心と懸念が強まる中、改めてQ&Aで紹介します。



都大路を駆ける青春——25日に全国高校駅伝



高校生長距離ランナーの晴れ舞台、全国高校駅伝競走大会(毎日新聞社主催、男子62回、女子23回)は25日、京都市の西京極総合運動公園陸上競技場発着のコースで行われます。全国の予選を勝ち抜いた男女各47代表の争いは、紙面で熱く報じます。選手名鑑は24日に掲載します。今回の予選タイム1位は、男女とも仙台育英。この強豪を追って、男子では西脇工(兵庫)、世羅(広島)、九州学院(熊本)などの伝統校が、女子では興譲館(岡山)、筑紫女学園(福岡)、豊川(愛知)などの有力校が激戦を演じそうです。また大会を前に、運動面の大型連載企画「インサイド」で、初登場から20年が経過する外国人留学生の問題を取り上げます。

激動の時代を生きて

ソ連崩壊から 12 月 25 日で 20 年。この間のロシアや旧ソ連諸国の変貌を検証してきたシリーズの締めくくりとして、ソ連崩壊当時のキーパーソン 5 人へのインタビューを国際面で連載します。ロシアの故エリツィン大統領とともにソ連の「解体」を決定したウクライナのクラフチュク元大統領＝写真＝らに、当時とその後の 20 年を振り返っての評価と、今後の国際情勢の展望を聞きます。



橋下徹・大阪市長、初登庁

市職員の「戦々恐々」

夕刊特集ワイド面 19 日（月）



大阪市長選に当選した、維新の会代表の橋下徹さん＝写真＝がこの日、大阪市の初登庁します。「市役所をぶっ壊す！」と宣言し、市職員を「税金をむさぼり食うシロアリ」と痛罵してきただけに、乗り込まれる側の市職員の心中は戦々恐々のようです。それを知ってか知らずか、当の橋下氏は就任直前、これまでの市政を支えてきた局長級の市幹部を更迭する意向を固めるなど、早く戦闘モード全開です。これまでナニワを代表する「大企業」として自他ともに認め、わが世の春を謳歌してきた大阪市職員。いま、その胸に去来するものは――。あわせて、かつては大阪府教育委員として橋下氏を支えながら、のちに袂を分かった百ます計算の陰山英男氏。吉本興業出身のプロデューサー、木村政雄氏らの話を聞きました。

「知りたいが分かる」がモットーの夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。

— お知らせ —

年内の「来週の売り物記事」は、次週 22 日（木）発行で終了致します。来年は 1 月 6 日（金）から発行予定です。ご了承ください。